

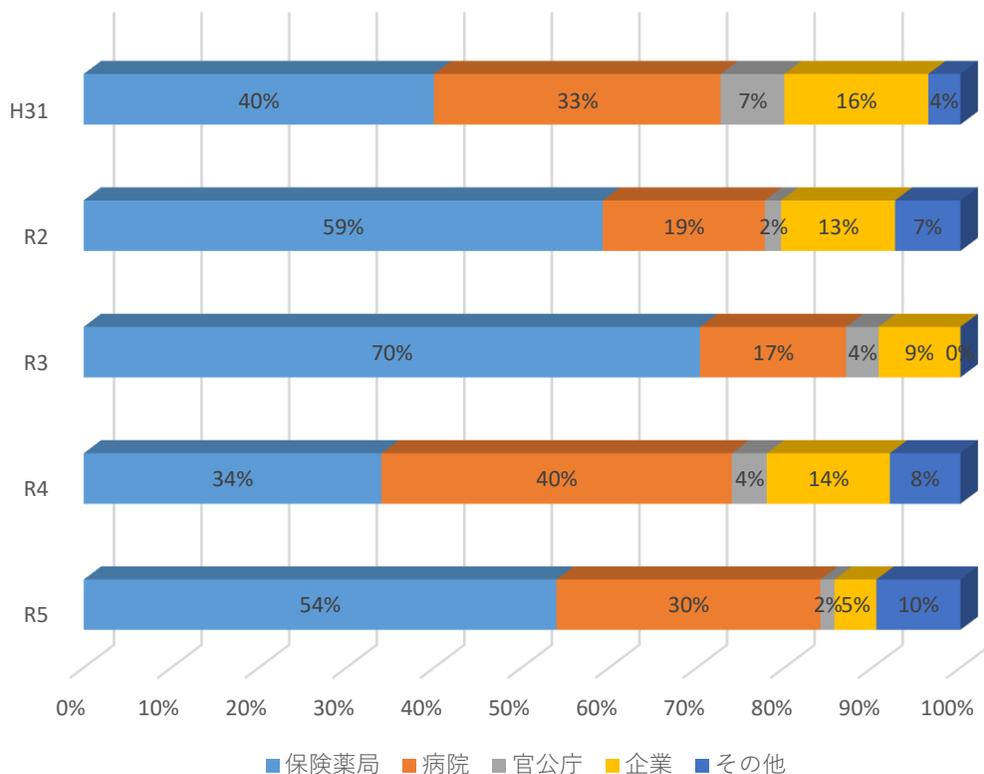
富山大学薬学部薬学科の 現状等について

令和5年5月10日(水)
富山大学

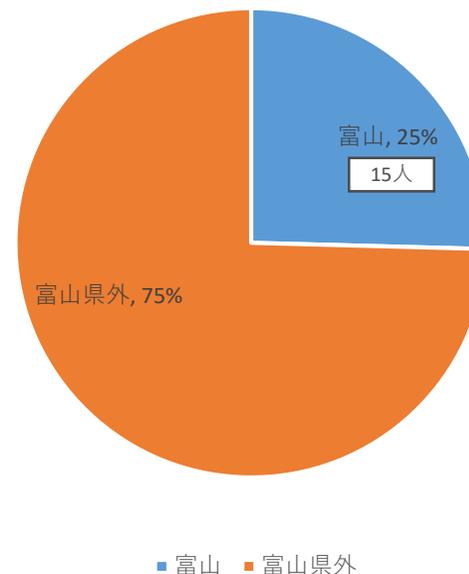
富山大学薬学科卒業生の就職状況

- 薬剤師の進路については、年によってその傾向が変わる。
直近（R4,R5）においては、**病院への就職がそれぞれ40, 30%**であり、以前（R2,R3）に比べて回復傾向にある。
- 富山大学薬学科生の県内就職率は**25%**と低迷しており、近年は同様の状況が続いている。

〔富山大学就職状況〕

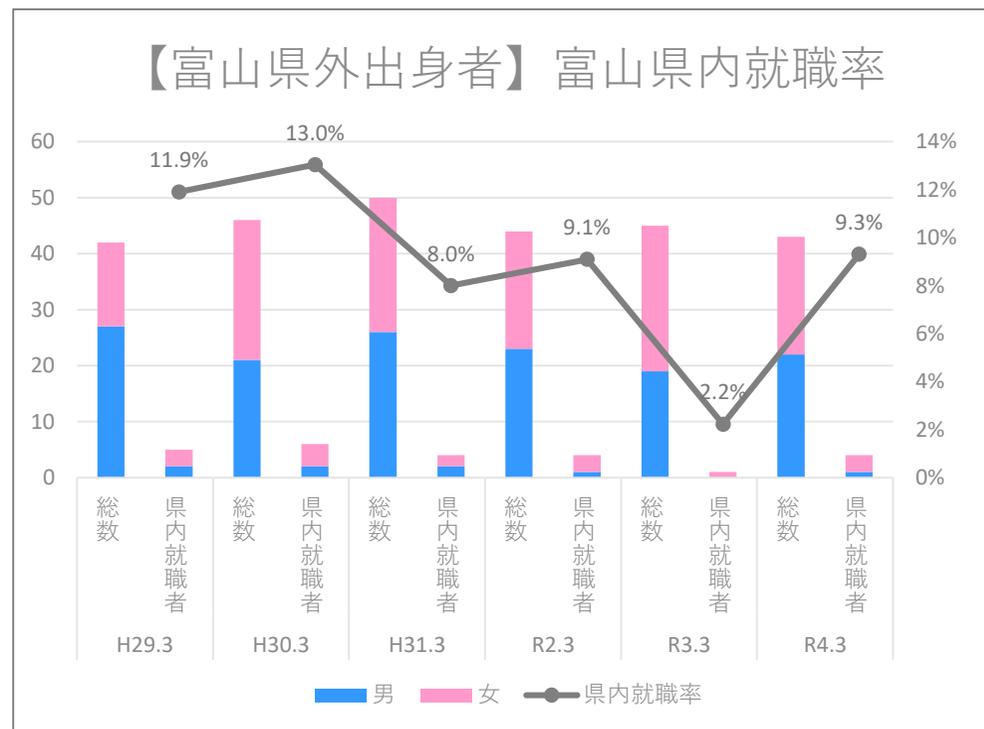
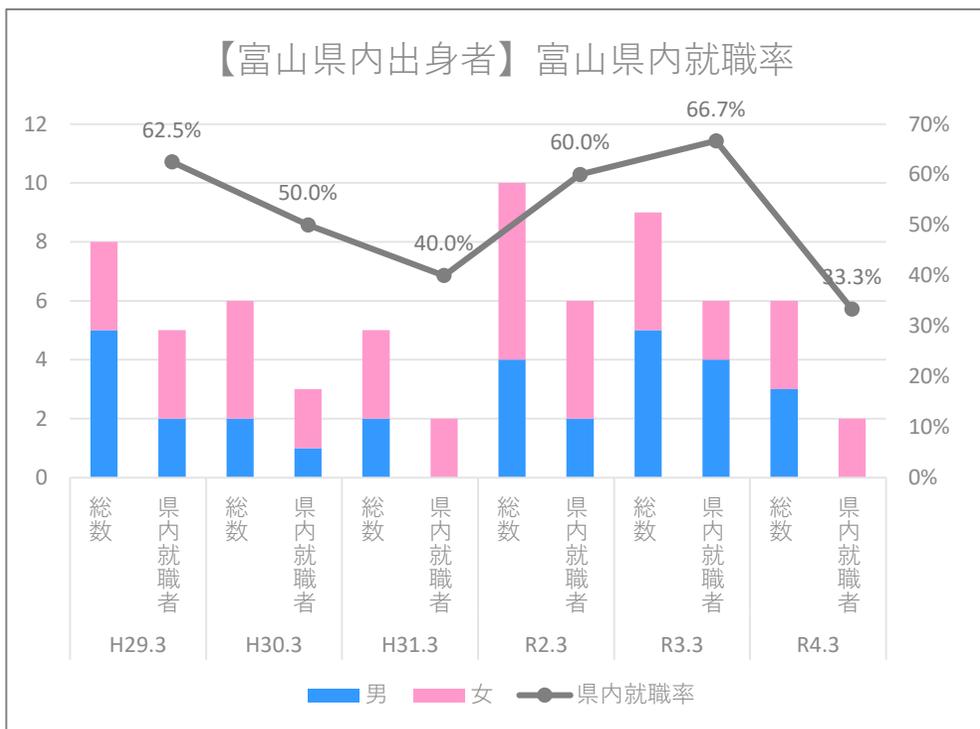


〔R5.3富山大学薬学科卒業生進路地〕



- 富山県内出身者は県外出身者に比べ、富山県内就職率が高い。
 (富山県内出身者 | 33.3%~66.7%)
 (富山県外出身者 | 2.2%~13.0%)

- 県内高校へのヒアリングの結果、富山大学薬学部薬学科に進学・卒業後、県内に残ることを希望する生徒が一定数存在することが判明している。入試時の評価の観点を多様なものにすることで、県内医療・産業界において活躍できる、主体性を持った目的意識の高い学生の選抜が可能になると期待される。



出身高校地別薬学部(6年制)入学状況

【国立大学】

出身高校所在地別薬学部（6年制）入学者数（令和4年度）

- 富山大学は、他の国立大学と比較しても、自県高校出身者の割合が低い。
（富山大学 | 17.1%、富山大学を除く8国立大学平均 | 24.0%）
- 本学以外の国立大学薬学部へ進学する富山県出身学生の数も少ない。

大学名	自県高校出身			他県高校出身			合計			自県の割合			富山県出身者数		
	合計	(男)	(女)	合計	(男)	(女)	合計	(男)	(女)	合計	(男)	(女)	合計	(男)	(女)
富山大学	12	6	6	58	25	33	70	31	39	17.1%	19.4%	15.4%	12	6	6
金沢大学	10	3	7	53	26	27	63	29	34	15.9%	10.3%	20.6%	3	2	1
大阪大学	25	11	14	55	33	22	80	44	36	31.3%	25.0%	38.9%	2	1	1
岡山大学	11	4	7	32	10	22	43	14	29	25.6%	28.6%	24.1%	0	0	0
広島大学	15	5	10	23	8	15	38	13	25	39.5%	38.5%	40.0%	0	0	0
徳島大学	10	5	5	75	32	43	85	37	48	11.8%	13.5%	10.4%	0	0	0
九州大学	6	3	3	24	10	14	30	13	17	20.0%	23.1%	17.6%	0	0	0
長崎大学	9	5	4	31	9	22	40	14	26	22.5%	35.7%	15.4%	0	0	0
熊本大学	15	9	6	43	28	15	58	37	21	25.9%	24.3%	28.6%	0	0	0

※一括入試実施大学等の結果を除く（大学改革支援・学位授与機構掲載の大学基本情報を基に富山大学にて作成）

【国公立大学】

出身高校所在地別薬学部（6年制）在学者数（令和4年度）

- 富山県出身者の6年制薬学部の在籍者数は、47都道府県中「44位」
- 人口千人あたりに換算すると、「47位」と全都道府県中最下位
- 富山県出身者が6年制薬学部を進路に選択しない現状

<薬学部6年制の在籍者数>

順位	出身都道府県	在籍者数（人）
1	東京	7,303
2	大阪	5,408
3	神奈川	4,835
⋮	⋮	⋮
44	富山	356
45	秋田	348
46	鳥取	288
47	島根	262

<薬学部6年制の在籍者数（人口千人あたり）>

順位	出身都道府県	在籍者数（人／千人）
1	奈良	0.7407
2	徳島	0.6334
3	兵庫	0.6232
⋮	⋮	⋮
45	秋田	0.3683
46	岩手	0.3612
47	富山	0.3473

「地域枠」入試の導入について【3/8プレス公表】

■ 目的

富山県内における慢性的な薬剤師の供給不足は、「地域医療」の基盤を損ねるおそれのみならず、「医薬品産業」の地盤沈下をもたらしかねないものである。

地域に立脚した本学薬学部として、県内薬剤師定着の促進を図るための対策として、富山県内の高等学校等出身者を対象とする、新たな薬学科生の選抜・入試制度として「総合型選抜（地域枠）」を創設することとした。

■ 出願資格

次の（１）または（２）のいずれかに該当し、かつ①から②に該当する者

【抜粋】

- （１）富山県内の高等学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が指定した専修学校高等課程又は高等専門学校第３学年を令和６年３月卒業（修了）見込みの者又は卒業（修了）後１年以内の者
 - （２）出願時に富山県在住で、令和４年４月以降に高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- ① 薬剤師の資格を取得後、薬剤師として富山県内の地域医療や製薬産業に貢献するという強い意志を有する者
 - ② 合格した場合に入学が確約できる者

■ 募集人数

10名

■ 選抜方法等

第1次選抜：書類審査（自己推薦書、調査書）及び「小論文・適性検査」の結果を総合的に評価する。

※「小論文・適性検査」は英語、数学、化学、物理における基礎学力を問う内容を含む。
（注）数学の出題範囲は数学Ⅲを含む。

最終選抜：第1次選抜合格者に対し、面接及びプレゼンテーション（質疑応答含む）を課し、第1次選抜の評価とともに総合的に評価する。ただし、面接又はプレゼンテーションにおいて評価が「不可」の場合は、合格の対象としない。

■ その他

- ・「総合型選抜Ⅰ（研究者養成枠）」、「学校推薦型選抜Ⅰ」との併願はできません。
- ・本選抜の入学者は、入学後に地域創生コース（仮称）に属します。本コースでは、富山県及び関係団体等の協力のもと、富山県内製薬企業へのインターンシップ（企業薬剤師育成学）、富山県内病院・行政等の見学ローテーション（薬剤師キャリアデザイン学）など、地域が必要としている医療人として活躍する薬剤師を志す学生をフォローアップするための「地域創生型カリキュラム（仮称）」が用意されています。

「地域枠」入試実施に併せて薬剤師の県内定着促進策を実施

- ① 入学定員の増員（R4～）
 - ・ 薬学科の入学定員を55名から70名へ増員
- ② 富山県内就職促進委員会の発足
 - ・ 「富山県内就職率向上」に特化した体制として設置
 - ・ 正課、正課外イベント、経済支援等富山県内への就職を一貫してサポート
- ③ 薬学部臨床薬学教育推進センター フューチャー・アレンジメント部門の新設
 - ・ 薬学部臨床薬学教育推進センターにおいて富山県内への就職率向上を担う「フューチャー・アレンジメント部門」を新設し、令和4年11月には教授1名が着任
- ④ 奨学金の新設
 - ・ 「NPO法人とやま医薬・健康情報ライブラリーネットワーク」の協力を得て、薬学科を卒業後、富山県内において就職を希望する者を対象とした奨学金制度を新設（主なターゲットは製薬企業を意識）→2022年度 2名に貸与開始（前年度：1名）
 - ・ 県内就職者は奨学金の返還を免除する
- ⑤ 富山県や企業との連携教育の推進【詳細については次項参照】
 - ・ 富山県や製薬企業等から講師を招き、県内企業に魅力を感じる授業を展開
 - ・ 県内病院・薬局・行政・製薬企業への見学、インターンシップを実施
 - 「薬学概論」「製薬企業概論」「薬剤師キャリアデザイン学」「企業薬剤師育成学」「薬学経済」等
- ⑥ 卒後教育の推進

富山県（行政）を始めとした関係機関と緊密な連携を図りながら、教育や研修を実施し（「薬剤師リカレント教育プログラム」を展開）、富山県の問題解決に貢献

薬剤師定着のための「地域創生型カリキュラム（仮称）」

臨床薬学教育推進センター

新設

■ フューチャー・アレンジメント部門 ■ 臨床教育部門 ■ グローカル・リレーション部門

- 富山県病院薬剤師会
- 富山県薬剤師会
- 富山県内製薬企業
- 富山県くすり政策課
- 富山薬窓会

○ 必修科目
○ 正課外

薬剤師リカレント教育プログラム

県内薬剤師を対象としたスキルアップ卒後教育

薬都とやま未来懇談会

必修化
企業薬剤師育成学
(インターンシップ)

必修化
病院・薬局実習

卒後

新設
薬剤師キャリアデザイン学

必修化
薬学経済

5年次

6年次

薬都富山のくすり業界の将来を考える
正課外イベント（薬都とやま未来懇談会）

薬学概論
製薬企業概論

3年次

県内病院・薬局での長期実務実習（病院・薬局実習）

2年次

薬学部同窓生による多様なキャリア紹介（薬学経済）

1年次

県内製薬企業へのインターンシップ（企業薬剤師育成学）
県内病院・薬局・行政の見学ローテーション（薬剤師キャリアデザイン学）

早期体験学習：県内病院・薬局見学、薬事行政（薬学概論）
県内製薬企業による企業紹介（製薬企業概論）

地域創生
コース
(仮)

① 富山大学薬学部薬学科在学者の奨学金（日本学生支援機構）受給・貸与状況（令和5年1月末）

在学者368名中138名（37.5%）が受給・貸与中である。

受給額（月額）については、経済状況等により選択できることから、月額120,000円～13,800円と幅広いが、受給・貸与者の平均受給額（月額）は50,616円である。

